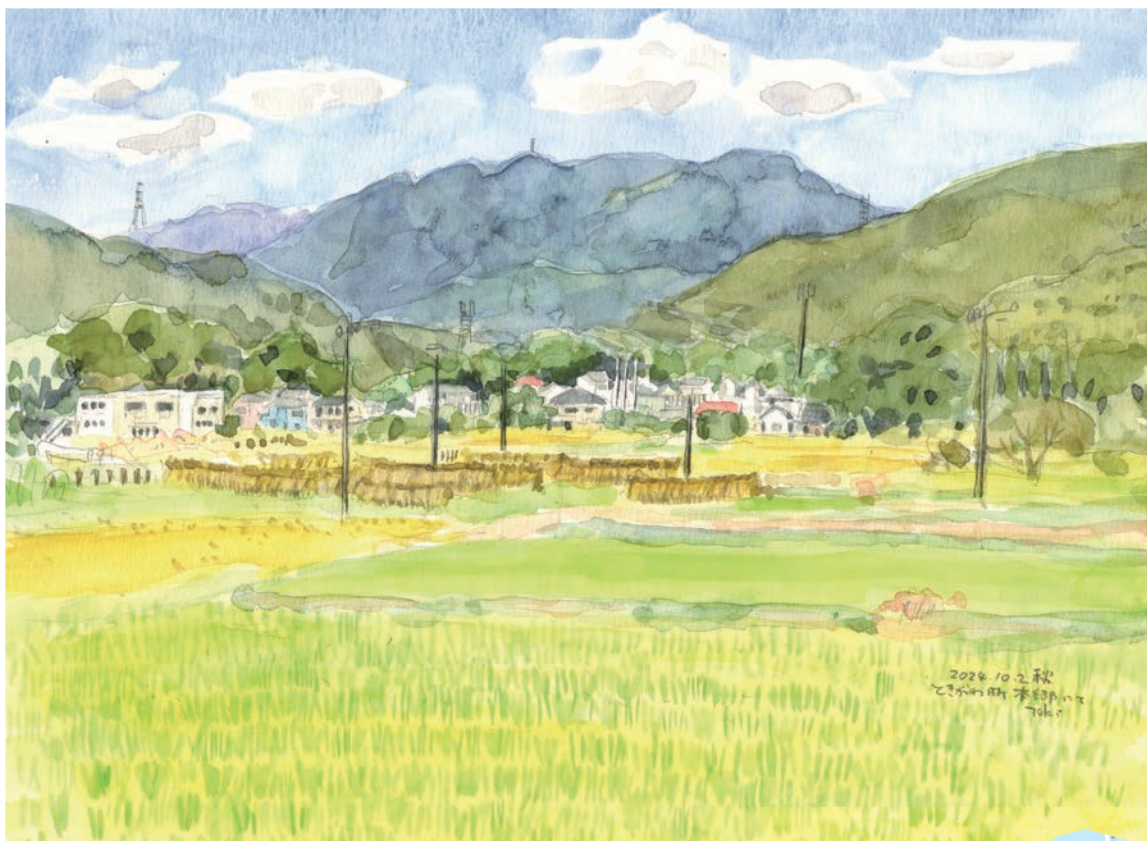




秋景（大字本郷地内）

風に乗って金木犀^{キンモクセイ}の香りがふわりと漂ってきた。ここは本郷。奥武蔵の山々が見渡せる都幾川沿いの田んぼの角で描いている。はさがけ（かけいね）に並んだ稲の束。ひこばえが生えている田んぼの隣には、刈り取り間近の稲穂が揺れる。山裾の民家の間を縫って車が通り抜けて行くのが見える。そんな明るく眩しい景色の中、弓立山や雷電山の山肌に散見する「ナラ枯れ」と思しき枯れ木が気にかかる 2024 年秋の屋下がり。



【編集後記】秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋、そして行楽の秋。旅行というと、観光地を巡ったり、ご当地グルメを楽しんだり、予定をたくさん詰め込みたくなります。でも、私が意外と好きなのが、朝の時間。少し早起きをして街を歩いていると、観光地では見られない、その街の日常に出会えます。まだ人通りの少ない道を歩いたり、開店したばかりのカフェで朝ごはんを食べたり。「旅行に来た」というより、「この街で暮らしている」という気分になれるのが心地良く、その何気ない時間が大好きです。最近では、旅先での予定を詰め込む前に、まず「ここ、朝活できそうな街かな」と考えてしまいそうです（笑）。【前田】

